再処理工場周辺の放射能汚染マップ

公的データ（青森県・日本原燃・文科省・環境科学技術研究所・東北電力調査）による

自然界の淡水中のトリチウム濃度は
最大で約 1 ベクレル / リットル
海水中のトリチウムは
約 0.2 ベクレル / リットル　c,d

原燃・青森県の海水トリチウム・データは全て不検出
放出口直上、南北 5ｋｍ、20ｋｍで年に 2 ～ 4 回測定している
真実のデータを示さず操作をしている疑いあり

むつ湾

東通原発

東通原発沖
トリチウム自然の
15 ～ 20 倍上昇
海水 07.10.10　a

同 自然の 20 倍上昇
08.10.14　a

いずれも東北電力の測定結果

六ケ所農業世帯の日常食中のヨウ素 129 が
平常の約 27 倍に上昇　08.8
漁業世帯は約 7 倍に上昇　08.1
以降データ非公開？　b

泊

尾駮井戸水のストロンチウム 90
日本最高濃度検出 日本平均の 8.4 倍
09.10　a

太平洋

吹越

六ケ所村

空気中の水分のトリチウム
3 倍　07.3　a

ヨウ素 129 の急激な汚染 尾駮沼の
生物中濃度、試験前の数十倍に上昇
尾駮漁港も上昇　b

尾駮港底土のヨウ素 129
06 年の約 12 倍　08.6.16　b

老部川

尾駮港海水中のトリチウム
自然界の 37.5 倍　07.11　b

工場周辺に
クリプトン 85 の
プルーム（雲）が頻繁に降下
吹越で自然界の 7300 倍
07.9.15　a

二又
再処理工場

尾駮

六ケ所沖ヒラメ 体内水のトリチウムが
自然界の 10 倍　07.10.23　a

海洋放出口

同自然界の 15 倍
ヒラメ　08.10.14　a

室の久保

六ケ所沖海藻プルトニウムが
北海道・岩手の数倍
06.10.18　a（訂正資料）

千歳平

平沼

海藻中ヨウ素 129
アクティヴ試験前の 3 ～ 9 倍
2007.8 から調査　a（追加資料）

● 敷地外測定局（モニタリングステーション）

コメ、野菜中の放射性炭素 14 が
上昇傾向にあります　a

尾駮沼の水トリチウム
自然界の 2 ～ 4 倍に上昇
07.4.17　a

小川原湖

下北・三陸の海水中
トリチウム濃度が広
範囲で上昇　07.5-6
08.4-5　c

八戸沖で海水中のトリチウム
自然海水の 6.5 倍も　08.5　c

designed by Peace Land

★データ出典もと

a：原子力施設環境放射線調査報告書・青森県　平成 17 ～ 21 年度報
　実施者　青森県原子力センター、日本原燃、東北電力
b：放出放射能環境分布調査報告書　平成 18 ～ 20 年度
　平成 17 年度版は―(水圏動態調査報告書、放射性物質等分布調査報告書)―と呼称
　実施者　環境科学技術研究所　青森県委託調査
c：海洋環境放射能総合調査事業　海洋放射能調査　平成 18 ～ 20 年度報
　実施者　海洋生物環境研究所　文科省委託調査
＊自然放射能等のバックグラウンドは
d：環境放射線データベース―文科省―他文献による

お問合わせ / 三陸の海を放射能から守る岩手の会
020-0004 盛岡市山岸 6-36-8 永田方 Tel&Fax 019-661-1002
http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm